

令和 7 年度使用教科用図書 選定理由書

《中学校用教科用図書》

国 語 … P. 1

書 写 … P. 2

社 会 … P. 3

数 学 … P. 7

理 科 … P. 8

音 楽 … P. 9

美 術 … P. 10

技 術 … P. 11

家 庭 … P. 12

保 健 体 育 … P. 13

道 徳 … P. 14

外 国 語（英 語）… P. 15

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特色】 ・「言葉の力を、生きる力に」「国語の授業から広がる未来」「一人一人の学びたいに寄り添う」を編集の基本方針としている。 ・各学年に平和や人権教材を取り上げ、生き方を問い、主体的・対話的な学びを引き出し、心豊かな人間性を培う国語教育として、様々な授業展開に期待がもてる内容である。 ・文学作品、古典作品に中学生として必修させたい名作を掲載するとともに、他者との関係から様々な価値観を感じ取らせ、自己をみつめなおすという、現代中学生に求められる力を培う新教材が採用されている。 ・ユニバーサルデザインの視点を大切にし、字体、配色、イラストに、特別支援教育、色覚特性、ジェンダーレス、国際化への対応がなされている。 【内容の配列と分量】 ・3年間で「読む・話す・聞く・書く」という基礎力が積みあがるよう配列され、それによって培われる「言葉の力」が学びを深め、よりよい未来を切り開く糧となるよう工夫されている。 ・3年間で系統的、横断的に学べるように教材が配列され、学習を発展させながら、既習の教材とのつながりを考え、学習を深化させることが可能である。 ・授業の導入・活動の手助け・学習の定着など様々な学びのシーンに使い分けができるコンテンツが設けられ、「主体的に学びに向かう力」のしかけが豊富である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各学年に「デジタルコンテンツ一覧」を設け、家庭学習や自学自習で扱えるものをマークで明示し、「個別最適な学び」を支える工夫がなされている。 ・読み比べができる教材や情報活用能力をつける教材など「学力向上」を目的としたものを充実させ、全国学力・学習状況調査で課題とされている「文章と図表・資料との対比」、「複数の条件に従って書く」などに対応している。			
選定結果		選定する	
【上記選定結果の理由】 ・多様なテーマを取り上げ、生徒が興味・関心を広げ、現代社会の課題に向き合うことができるよう教材を選定し、「言葉の力」が3年間の系統性をもって育めるように教材を配置し、生きる力につながる国語教育の方向性を示している。 ・デジタルコンテンツが充実しており、一人一人の「主体的な学び」や「個別最適な学び」を可能にしている。また、デジタルコンテンツで資料を提供することで、ページを削減し、軽量化に努めている。 ・教科書全体の装丁が美しく、見やすい作りで、様々な特性のある生徒に対応できる。			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
【教科書の特色】 ・ A B 版 144 ページ 1 ～ 3 年合冊 ・ 毛筆（楷書・行書）硬筆の手本とも、練習教材が豊富である。 ・ 「学習の進め方」については「目標～ふりかえり・日常に生かそう」と順序が明確に示してあり、すっきりと読みやすく、学習の流れが視覚化されている。 ・ E S D、S D G s（②飢餓・⑭海の豊かさ・⑮陸の豊かさ・⑯平和と公平）について興味を促すページが設けられている。多様な表現と兵庫に関する内容が関連している。 ・ 色彩、レイアウトについてはカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントに配慮した色使いやレイアウトになっている。左利きの生徒のための持ち方の動画などの配慮がある。 ・ デジタルコンテンツが多くあり、運筆以外にもワークシートや他の文字へリンクされている。 ・ 他教科のレポート、手紙の書き方、実社会で活用する「書式の教室」など、生きてはたらく書写力を養うページが設けられている。 ・ 書写で学んだことを活用していく際に、どのような筆記用具を用いることが効果的なのかの記載がある。 【内容の配列と分量】 ・ 1 年生 毛筆手本【楷書 3（半紙大 1、小 2）、行書 5（半紙大 0、小 5）】 硬筆【字形／筆順、楷書と仮名の調和「いろは歌」・行の中心『竹取物語』・文字の配列・行書の特徴】 ・ 2 年生 毛筆手本【楷書 0、行書 4（小 4）】 硬筆【点画の省略、筆順の変化、行書の特徴、行書と仮名の調和（『走れメロス』『枕草子』等）】 ・ 3 年生 毛筆手本【楷書 0、行書（小 1）】 硬筆【配列（『おくの細道』）】 ・ 補充教材集 楷書 3、行書 7 ・ その他 書初め教材：1 年生は P57～60、2・3 年生は巻末に折込式、コラム（文字の変遷、日本建築と「書」など） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 第 1 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 （イ）漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 第 2 学年 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）漢字の行書とそれに調和した似名の書き方を理解して、読みやすく遠く書くこと。 （イ）目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 第 3 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるように対応している。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・ 毛筆、硬筆ともに題字が豊富である。 ・ A B 版で図やイラストを用いることでわかりやすいレイアウトや内容になっている。 ・ 「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習が、復習できるようになっている。行書学習特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版が掲載されている。 ・ 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮されている。 ・ S D G s（②飢餓・⑭海の豊かさ・⑮陸の豊かさ・⑯平和と公平）について関連させ、興味を促すページが設けられている。			

教科名（ 社会 <地理的分野> ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
【教科書の特色】 ○イラスト地図がとても見やすく、興味関心を高める内容になっている。諸地域の特産物から課題を発見し、地形や気候を利用した探究学習につなぎやすくなっている。 ○「アクティブ地理」の内容は、グループでの課題探究学習に最適である。考えをまとめやすい思考ツールの提示や、段階を踏んで考えを深められるような構成から、「主体的・対話的な深い学び」につなげやすくなっている。 ○地図帳との連携が図られており、文章やグラフ・イラストを地図上で捉え考えることができる。 【内容の配列と分量】 ○基本的な「見開き 2 ページ 1 時間」の進捗で計画できる分量で、重点的に取り扱いたい単元に重みを置くこともできるだけの余裕がある。 ○見開きのページが、統一されたレイアウトで配置されているため、生徒の自主学習にも活用しやすく迷わずに取り組むことができる。 ○「技能をみがく」コーナーで、地図やグラフ・資料の活用方法が丁寧に示されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○1 時間の授業内で「課題・見通し・振り返り」が分かりやすい。さらにより大きなまとまりである単元ごとにも、それぞれ分かりやすくまとめられている。 ○生活に根づいた写真を大きく掲載することにより、生徒の主体的な学びを生むとともに、写真の読み取りから探究的な学習につなげることができる。 ○世界や日本の諸地域では、「地理的な見方・考え方」が育成されるよう、動態地誌的な課題探究学習を図っている。			
選定結果		選定する	
【上記選定結果の理由】 ○イラスト地図や「アクティブ地理」の探究学習など、生徒の主体的・対話的で深い学びを实践できる内容が多い。 ○一目で子どもの興味を引くインパクトのある写真を掲載している。主体的な資料の読み取りなど、生徒に考えさせることのできる写真を使用している。 ○映像や資料だけではなく、思考ツールやG I S教材などデジタルコンテンツが豊富である。			

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
【教科書の特徴】 ・見開き 2 ページで 1 時間の授業。 ・導入のページで「単元をつらぬく問い」を配置している。 ・授業ページの終わりに「確認」「表現」を配置している。 ・「まとめとふり返り」で「Y チャート」「マトリクス」「ロジックツリー」などの思考ツールを使っている。 ・QR コンテンツが最も多い。 【内容の配列と分量】 ・古代までの日本（58） ・中世の日本（40） ・近世の日本（50） ・近代の日本と世界①（60） ・近代の日本と世界②（46） （第一次世界大戦以降） ・現代の日本と世界（34） ・その他（34） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・見開き 2 ページ（1 単元授業）の中で、「学習課題」「見方・考え方」が見記されており、何をどのように学ぶのか見通しがつきやすい。 ・章ごとにある「まとめと振り返り」では、知識の定着や思考判断できるような問いを配置し、より深く歴史を理解できる工夫がある。			
選定結果		選定する	
【上記選定結果の理由】 ・全体的にバランスよくどの時代も扱っている。 ・デジタルコンテンツが最も多い。 ・資料として紹介されている図の背景が、章ごとに色分けされており、学習単元が分かりやすい。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
【教科書の特色】 ・身近な場面から章の学習内容に関する問いを考え、「章の問い」を立てる流れになっている。また、立てた問いの答えを予想することを促し、学習の見通しを持つことができるとされている。 ・何を学ぶのか、どのようなことに着目するのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示した右ページの側中欄には「確認」「表現」コーナーを設け、「章・節の問い」に答える手がかりとなるよう工夫している。 ・ポートフォリオを用いて学習を振り返ることで、学びの自己調整ができるようになっている。 ・「アクティビティー」では、具体的な事例について、資料の読み取りや協働的な学習などを見すえて作成しているとされる。 【内容の配列と分量】 ・本文は220ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・標準時間数100時間で完結できるようになっている。 ・各編章は導入ページ「学習のはじめに」で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。まとめとふり振り返りページでは、単元を貫く問いに答える活動を行う。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・情報を調べ、まとめる技能を修得できるよう、特設ページ「情報スキルアップ」で情報リテラシー・情報モラルなどを身につけられるよう配慮するとともに、各所で思考ツールを用いた学習ができるよう工夫している。 ・「アクティビティー」「チャレンジ公民」では、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いを設けている。また、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習ができるようにしている。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・「見方・考え方」が具体的に示されていることで、学習の見通しを立てやすいものとなっている。 ・写真や統計資料、イラストが見やすく、授業や生徒の思考の流れに則した内容となっている。 ・人権や社会問題について考える視点が幅広く、かつ適切に選択されている。 ・請願権の学習で、丹波市の取り組みが取り上げられている。			

教科名（ 社会＜地理的分野（地図）＞ ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
【教科書の特色】 ○等高段彩表現と土地利用表現により、一目で地形と産業のつながりが読み取れる。 ○地図資料だけではなくG I S ジオグラフや映像資料など、デジタルコンテンツが豊富である。 ○鳥瞰図が多く採用されており、視覚的に全体が把握しやすい。 【内容の配列と分量】 ○巻末の統計資料では、国内総生産ではなく国民総所得を掲載しており、グローバル化に対応している。 ○自然災害・防災に関わる内容を多く取り上げている。 ○同縮尺の地図を並べて掲載するなど、地図を比較して考えられる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○SDG s について考察できる写真・資料が多い。 ○歴史に関連する地名を表記することにより、分野を横断的に学習できる。 ○主体的な学習を促すため「地図で発見！」で適切な課題を提示している。			
選定結果		選定する	
【上記選定結果の理由】 ○見やすい濃い色で描かれており、山の標高や平野部などの読み取りがしやすい。 ○各地方の資料が多種多様で豊富である。 ○近畿地方で阪神・淡路大震災に関連した、防災にまつわる地図を取り上げている。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
【教科書の特徴】 ・各章の章末の問題ごとにチェックマークがあり、解けた問題に印をつけることができる。解けなかった場合には参照するページが注釈として記載されている。 ・各学年の巻頭に、数学の学び方について紹介している。 ・2年生「データの活用」では、インターネットの通信速度を取り扱っており、情報端末をよく使用する中学生にとって身近な題材となっている。 ・(ICT) デジタルコンテンツが多数用意されており、補充問題や章末問題の解答・解説動画などが含まれており、家庭学習しやすくなっている。デジタルコンテンツが、マークとタイトルで教科書に示してあり、コンテンツの内容がわかりやすい。			
【内容の配列と分量】 ・デジタルコンテンツを活用することで、教科書のページ数、重さを削減している。教科書の厚さがたいへん薄い。 ・二次元コードがページの各所に配置されており、補充問題等に取り組むことができるように工夫されている。 ・すべての単元で『〇〇の利用』の節を配置し、問題発見・解決の過程を意識できるような課題が設けられている。 ・「主体的・対話的で深い学び」に関する教材の内容が、7社の中で多い傾向にある。 ・数学と様々な教育課題をつなげて学ぶことができるような題材が工夫されている。			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・数学的な見方・考え方を体得するために、単元の巻頭や単元末に限らず、日々の授業の中で働かせた数学的な見方・考え方を顕在化させ、わかりやすく表現されており、本文中にも下線をひき示されており、繰り返し目にするように構成されている。 ・既習事項をもとにして考えたり、予想したりして、生徒が主体的に、新しい学習に円滑に入ることができるよう、自ら課題発見できるように「ひろげよう」を設定している。 ・様々な教育課題への対応として、デジタルコンテンツの解説動画が丁寧に教えてくれるので、登校が困難な生徒への学習支援など生徒が学校以外の場で学習を進める際の支援も配慮され、「個別最適な学び」に様々な工夫がされている。			
選定結果		選定する	
【上記選定結果の理由】 ページ数が他の教科書に比べ、秀でて少ないなど、大きな特徴は、ICTの活用である。ページ数が約1割程度削減されており、削減の理由は、これまで記載されていた内容がデジタルコンテンツに移行され、内容も充実している。その意味では、学習指導要領等の趣旨を踏まえると先端を進んでいる。 コラム的な話題、高校につながる発展的な内容、など全体的に内容のバランスがよく、活用しやすい。 教育課題の多様化等により、その様々な教育課題への対応として、「個別最適な学び」に向けた様々な工夫がされている。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	61	発行者名	啓林館
【教科書の特徴】 ▲横に大きなサイズ（縦 B5、横 A4）で小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ○二次元コードは一覧になっていて活用しやすい。また、どのような内容にリンクするのか明記されていて分かりやすい。 ○資料問題や思考問題が充実している。 ○高学年への移行内容や高校への発展的な内容、身の回りの現象などのコラムが、充実している。 ○探究や学習のふりかえり、ポートフォリオなど、多様な学習形態に対応している。 ▲既習事項とのつながりについては、あまり書かれておらず、デジタルコンテンツでの確認が中心になっている。 ○実験操作などが動画で確認できる。 ○見開きの両サイドに図・写真、中央に文字が一貫して配置されており、教科書を持ち出した時も文字が中央にあり、見やすくなっている。 ○文字のポイント数や行間が良い。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（1 年）の順である。 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（2 年）の順である。 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（3 年）の順である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○各章ごとに探究学習を取り入れている。 ○教科横断的な他教科との関連が示されている。 ○探究シートが付いており、活用することで、探究活動をスムーズに行うことができる。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・レイアウトに一貫性があり、文字が見やすく内容が分かりやすくなっている。 ・小中高の学びのつながりを踏まえ、身近な生活や他教科とのつながりがよく分かるように工夫されている。 ・探究のツールが用意されている。 ・いろいろな学習形態に対応できるように工夫されている。 ・兵庫県に関する内容が他社よりも多い。			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
【教科書の特色】 ・写真の色が鮮やかで、レイアウトが美しく、統一感がある。 ・生徒にわかりやすい文章で記されている。 ・二次元コードが数多くあり、デジタルコンテンツが豊富である。 ・音楽界で活躍している著名人のインタビューを掲載したり、生徒が親しみやすいイラストになっている。 ・教科書を開けやすく、丈夫で長持ちするような素材やつくりになっている。 【内容の配列と分量】 ・基本から発展的な内容になるように配列されている。 ・教材の数や鑑賞の選択肢、合唱曲の数のバランスがよい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・主体的、対話的な授業が展開しやすく、音楽を通して社会とつながる内容となっている。 ・日本や地元の伝統文化を取り入れた内容となっている。 ・広いジャンルの音楽の紹介がされており、生涯にわたって音楽を親しめる内容となっている。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・ユニバーサルデザインに配慮された構成になっている。 ・主体的、対話的な学びから、協働的な学習につなげる仕組みが作られている。 ・二次元コードによる学習支援が豊富で充実しており、個別最適な学びを展開しやすい。 ひょうご教育創造プランを踏まえた内容が多く、また地域の内容も学習することができることから、丹波地区の教科書としてふさわしい。よって、選定することとする。			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
【教科書の特色】 ・デジタル教材を活用して技法、画材などの知識、技能を豊富に得ることができる。 ・デジタル教材「人形アプリ」があり、人物を描いたり立体造形したりする際に活用できる。 ・実物大で掲載したり、美術館等に設置してある写真を掲載したりするなど、より身近に感じられる工夫がある。 ・教科書のページを折り、実際に屏風を立てることができるなど、よりリアルに鑑賞できる。 ・松任谷由実や所ジョージなど、一見美術とは関係なさそうな著名人の言葉を掲載し、美術の世界に入りやすくしている。			
【内容の配列と分量】 ・基本的な事項を精選し、教材の確定・配列・構成が明確である。 ・1年生では絵に対するアプローチから入るよう、実際に思考、制作する様子を示す写真を掲載している。墨画、版画、工芸、文字のデザイン、焼き物や伝統文化などを網羅し、鑑賞に関することや発想のヒントを含んでいる。 ・2，3年生は「上」「下」に分かれている。「上」は1年生の教科書を様々にひろげる形になっていて、「下」は自画像など自分と向き合い、未来につなげる内容となっている。 ・3冊に分冊（1年生、2・3年生上、2・3年生下）し、1冊の計量化を図っている。			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各教材に導入用の動画があり、学習内容を確認しやすく、発想や構想をひろげやすい。全体に思考に関するヒントを散りばめるなど、自ら学ぼうとする姿勢を育むことにつなげやすい。 ・社会や自分の生活とつながるようなパッケージデザインや道徳的なつながりを持つ題材がある。 ・防災に関する教材が豊富で、兵庫にゆかりのある作品も掲載してある。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 1年生では美術を通して見方や感じ方を養い、2年生では自国の伝統や諸外国の美術に触れることで幅広い表現を学び、3年生では社会や環境問題へと知識をひろげ、美術を通して社会貢献する態度を育む等、3年間を見通したバランスの良い配置・構成となっている。防災やSDGsとの関連も豊富である。また、デジタル教材を活用した導入により、学習に対するイメージをひろげやすい。			

教科名（ 技術 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
【教科書の特色】 ・UD 書体を使用し、可読性を高めている。文章は特別支援教育の観点から、単語を途中で改行しないようにしている。カラーユニバーサルデザインの配慮もされており、専門家による校閲が行われている。 ・各内容の適切な箇所に二次元コードがあり、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。 ・小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページに示している。また、文中で関連がある箇所にはマークが示されており、学年・教科横断的なカリキュラムが立てやすいよう工夫されている。 ・キャラクターは多様性にも配慮され、生徒が関心・意欲をもって学習を進めるのに効果的である。 ・ガイダンスで、中学生の所持率が高いスマートフォンについての基本的なルールやマナーや、デジタル・シティズンシップについても、その資質についておさえられるように配慮されている。 ・技術に関するインタビューを載せてあり、職業観・労働観を育むことができるように配慮されている。 ・COVID-19（新型コロナ）によって、感染を避けながらコミュニケーションやサービスができるようにさまざまな技術があったことに気付けるように配慮されている。			
【内容の配列と分量】 ・技術分野で学習する内容を、それぞれ4つの領域としてまとめている。最初にガイダンス、巻末に10ページ程度を「技術の出口」として、これからの技術についての話題や総合的な実習を取り上げており、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるように工夫されている。 ・A 領域は80ページあり、基礎基本では知識面に24ページ、技能面に22ページを割り、問題解決に26ページまとめ等に8ページと基礎基本について丁寧に説明されている。実習例は7つと充実している。 ・B 領域は52ページあり、基礎基本の習得に22ページ、問題解決に22ページ、まとめ等に8ページで標準的な構成である。実習例は7つと充実している。 ・C 領域は54ページあり、基礎基本の習得に30ページ、問題解決に16ページ、まとめ等に8ページである。実習例は4つ示されている。 ・D 領域は74ページであり、基礎基本の習得に36ページ、問題解決は双方向性プログラミングに16ページ（実習例7つ）、計測・制御には14ページ（実習例5つ）、まとめ等に8ページである。			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各領域は「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的に学習が進められるように工夫されている。各領域の最後にある「学習のまとめ」では、評価の三観点に沿った設問が掲載されており身についた資質・能力を確認できるよう工夫されている。 ・各小項目の冒頭にある「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組めるよう配慮している。また、適所に配置された「実験」や「やってみよう」などの活動を通して理解を深めることができるよう工夫されている。最後にある「CHECK」によって自己の学びを調整し深い学びになるよう工夫されている。 ・兵庫県に関する内容は、A 領域の巻頭見開きで姫路城が取り上げられている。また、じょうぶな構造の説明において、トラス構造の箇所で明石海峡大橋が取り上げられている。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・イラストや写真、文字が大きく、視覚に訴えるつくりになっており、生徒の興味・関心を引きやすい構成になっている。また、デジタルコンテンツも充実している。 ・防災マークや環境マーク等がついており内容に対する意識を高めることができ、他教科との関連もわかりやすい。 ・各分野の適切な箇所に二次元コードが記載されており、個別最適な学びを展開しやすい。 ・学習のまとめとしてチェック欄があり、チェックマークを入れることで振り返ることができる。			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
【教科書の特色】 ・デジタルコンテンツ内の動画がすぐに見られるような画面構成になっている。また、保育に関する動画が幼児の発達など押さえないポイントが上手く収められた内容になっている。 ・小単元のページごとに、生活の具体的な場面から生徒が考えることのできる導入課題（発問）が記載されている。 ・調理実習における調理方法の内容について、手順だけでなく、理由まで記述がされている。 ・各分野の学習内容に関連する職業に就いている方のインタビュー記事があり、キャリア教育とも関連付けられている。 【内容の配列と分量】 ・中学校家庭科のガイダンスとA分野の内容を結びつけて学習できるようになっている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・「主体的・対話的・深い学び」を考慮し、「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」という表現で、分かりやすい構成になっている。 ・SDGsについて、どの分野にも関連付けて取り上げられている。 ・兵庫県に関する項目について、郷土料理や阪神淡路大震災を取り扱った内容が本文中に記載されている。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・学習指導要領に沿った配列で、「主体的・対話的・深い学び」を習得させるための授業が実践しやすい構成となっている。 ・色使いや構成など全体的に見やすく、落ち着いて内容を学習することができる。また、動画や資料、図などもさらに見やすくまとめられており、生徒の理解が深まるための工夫が見られる。 ・近年多発する自然災害や防災についての内容が豊富に取り扱われている。また、過去の経験から学ぶ場面において、阪神淡路大震災も記載されている。 ・ウェルビーイング、ヤングケアラー、里親制度など、生徒も理解しておくべき現代の家庭生活における内容が扱われている。			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
【教科書の特徴】 ・説明文が左側、資料が右側にあり、1 単位時間の学習内容が見てわかりやすい構成になっている。 ・『学習のねらい』が明確に示されており、学習に取り組みやすい。また、『つかもう』『トピックス』など、導入に活用しやすい内容が盛り込まれている。 ・各ページの構成が統一されており、集中して見やすい。また、色合いが鮮明でわかりやすい。 ・説明文がわかりやすく、重要語句には異なるフォントが使用されている。また、読み仮名もついており配慮が成されている。 ・『話し合ってみよう』『活用して深めよう』では話し合い活動を取り入れることができ、対話を通して、学習内容を深められる構成になっている。 ・キーワードで振り返りをし、再確認ができる構成になっている。 ・『保健編』における資料（統計・グラフ等）が豊富である。 【内容の配列と分量】 ・見開き 1 ページの中に『学習のねらい』『つかもう』『トピックス』『話し合って（やって・調べて）みよう』『活用して深めよう』『キーワード』『ミニ知識』が読みやすい配列で示されており、分量も適当で見通しが持ちやすい。 ・学年ごとに学習内容が分類されている。『体育編』『保健編』にわかれており、どの学年も『体育編』から始まっている。 ・章末には『学びを活かそう』と『学習のまとめ』があり、これまでに習得した知識をまとめたり活用したりすることができる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・既習事項をもとに、学んだ知識を習得・活用していくことができ、実生活と結びつけ、対話を通して深い学びにつなげる工夫が成されている。 ・全体的に生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明文・資料等でまとめられている。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 ・見開き 1 ページの学習内容が明確でわかりやすく、授業を組み立てやすい。 ・色合いが鮮明、且つ資料が豊富である。 ・実生活と結びつけながら、話し合い活動などを通して学習を深める工夫が成されている。 ・『保健編』における資料が豊富で視覚的に、見てわかりやすい。 ・習得した知識をまとめたり活用したりしやすい。重要語句（キーワード）などを用いて学びの振り返りもしやすい構成になっている。デジタルコンテンツも工夫され充実している。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版
【教科書の特徴】 ・ B5 変型版、184 ページ（1 年）、192 ページ（2 年、3 年） ・ 「考えよう」で生徒が教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマを提示。 ・ 「見方を変えて」で生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるように問いを設定。 ・ 「つなげよう」で教材の特質に合わせて、生徒がさらに深く考えたり、行動につなげたりできるように工夫されている。			
【内容の配列と分量】 ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっている。内容項目は全て網羅している。 ・ 3 5 教材（1, 2 年） 3 4 教材（3 年）と付録 2 教材がある。 ・ 同一教材の取扱い（4 者以上） 『裏庭での出来事』（1 年）『二通の手紙』（3 年）『足袋の季節』（3 年） 各領域の割合 1 年 自：16.0% 人：14.4% 集：30.6% 生：19.1% 他：19.9% 2 年 自：15.3% 人：18.3% 集：29.4% 生：16.8% 他：20.1% 3 年 自：21.4% 人：13.3% 集：27.9% 生：15.3% 他：22.1% （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊）			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ いじめ問題への対応（1 年 11 2 年 13 3 年 7） ・ 体験的な学習（1 年 1 2 年 1 3 年 1） ・ 兵庫県（1 年 1 2 年 1 3 年 2） ・ 情報（1 年 3 2 年 3 3 年 2） ・ 環境（1 年 4 2 年 2 3 年 2） ・ 「主体的・対話的で深い学び」：自ら問いをもち、その問いを探究する姿勢を育てる様な工夫をしている。 ・ 問題解決的な学習（1 年 1 2 年 1 3 年 1） ・ 伝統や文化等（1 年 5 2 年 6 3 年 5） ・ 防災（1 年 1 2 年 3 3 年 2） ・ 人権・福祉（1 年 13 2 年 12 3 年 11）			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 色合い、写真やイラストの配置、文字のフォント等により落ち着きを感じる教科書である。日常生活にありがちな道徳的な判断を求められる場面を取り上げ、対話を通して問題を解決しようとする教材があり、さらに読み物を通して考えたことを、活動を通してさらに深めていく教材もある。また、人権・福祉に関する内容が各学年にバランスよく配置されている。「見方を変えて」で生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができる工夫がされており、主体的・対話的で深い学びを実践できる。よって、丹波採択地域として採択する。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特色】 ・活動がそれぞれの Unit のラストにまとめられており、場面設定ややりとりの内容、最終目標が明示されていて、活動がしやすいものになっている。 ・絵や写真の使い方が非常に見やすく配列され、かつ、書き込みやメモなどがしやすい。 ・学習の見通しを立てようのページでは、活動目標が明確で文法事項が丁寧にまとめられている。 ・Activity Plus では、見通しを持って学習したり、資料としても活動がしやすくなったりしている。 ・Unit Activity ごとにカナダの生徒の動画を通しての目的・場面・状況の設定がなされ、ゴールの設定がしやすく、パフォーマンステスト等に活用しやすい。 ・活動目標（GOAL）と文法事項が丁寧にまとめてあり、学習の見通しが明確に立てやすい。 【内容の配列と分量】 ・新出単語と小学校の単語が 1 箇所まとめてあり、非常に見やすく提示されている。 ・前学年の学習が Unit0 で復習できるよう構成されている。 ・1 ページあたり 1 時間を基本とし構成されており、時間配分や年間指導計画を把握しやすい。 ・Part 1 と Part2 が見開き 2 ページと精査されて構成されている。また、Read and Think のラウンドが減ることにより、時間に余裕を持って学習を進めることができる。 ・巻末ページには様々な内容が掲載されており、充実している。その中でも、年間で学ぶ key sentence がシンプルでまとまっており、長期休業日の復習としても適している。 ・1 年生後半から round 制が取り入れている構成になっている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・4 技能 5 領域が段階的に学ぶように構成されている。 ・2 年生では職場体験、3 年生では東日本大震災をテーマにしたものを取り入れている。 ・多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」を取り入れ、異文化への好奇心や多様性への理解を深めるきっかけづくりになる。			
選定結果	選定する		
【上記選定結果の理由】 巻頭に単元ごとの活動目標や文法が整理され、1 年間の学習の見通しを持ちながら段階的・系統的に学習が進められるように構成されている。1 年生前半を小学校の学習内容の接続期間として設定されており、余裕を持って小学校の言語材料や単語を振り返ることができる。 解説動画やデジタル用例辞典など、二次元コンテンツが大変充実している。スピードや再生方法を変えながら教科書本文や語句の音声を聞くことや、巻末の帯活用の動画を活用しながら復習できるなど、活用方法の幅が広く、一人一人にあった学び方を見つけることができる。			